

## ◆ 2 年「SS 課題探究 I」中間検討会について(10 月 14 日実施)

今年はコロナ感染防止のため、8 月～9 月上旬まで休校・分散登校となり、研究日程も大幅に短縮されましたが、当初の予定通り 2 年は「SS 課題探究 I」で取り組んでいる研究の中間検討会を行いました。SSH 運営指導員の先生方 8 名も全員発表会に参加し、生徒発表に対して質問や意見を頂くことが出来ました。また、理数科 1 年生も先輩の発表を真剣に聴講し、ルーブリックを使い評価しました。以下は当日の発表の様子です。



【物理分野：防音と液体の研究】



【地学分野：湧水の研究】



【数学分野：あみだの数学】

○物理分野では、「けん玉の実演」や「落下実験の演示」を取り入れた発表などがありました。

♡地学分野は 2 班とも水の研究発表でした。 ◇数学は確率分野の研究発表が大半を占めました。



【情報分野：音声分析の研究】



【生物分野：プラナリアの研究】



【化学分野：植物の香りの研究】

◆情報分野は、アプリの開発や音声分析による体調測定などさまざまな研究がありました。

♣生物は 6 テーマの発表があり、興味深いテーマで研究を進めていました。ただ、夏で研究の時間を確保出来てないため、今後の研究の進捗を期待すると SSH 運営指導員から激励がありました。

専門家より多くの助言を得て、翌週にはそれを書き出し、研究の見直しや計画の練り直しを行いました。2 月の最終発表会に向けて研究を進める予定です。

以下は生徒ルーブリックに記載された(1 年生の質問・感想)です！

【情報分野へ】音声で体調を調べる研究について、音声で、頭痛や腹痛など、体のどの部分が不調なのかを見分けることはできるんですか？ 【生物分野へ】セミの鳴き声の研究について、気温や湿度によって鳴き声の大きさや響きかたは変わるのではないのでしょうか？

【感想】「発表のときに分かりやすく伝えてくれていたので、内容を理解しやすかったです。実験の仕方や仮説の立て方などを参考にしたいです。」 「様々な条件を一定にして対照実験を行うなど矛盾がないようにしたいと思った。また、様々、といった曖昧な表現は避けたいと思った。」 「先輩たちの発表は聞きやすく、おもしろい内容のものが多かった。質問にも対応できていたのがすごかった。これは予め準備できていたからできることだと思うので、自分の研究の時も、しっかりと準備して、発表などを行いたいと思います。」